

母ちゃんの手

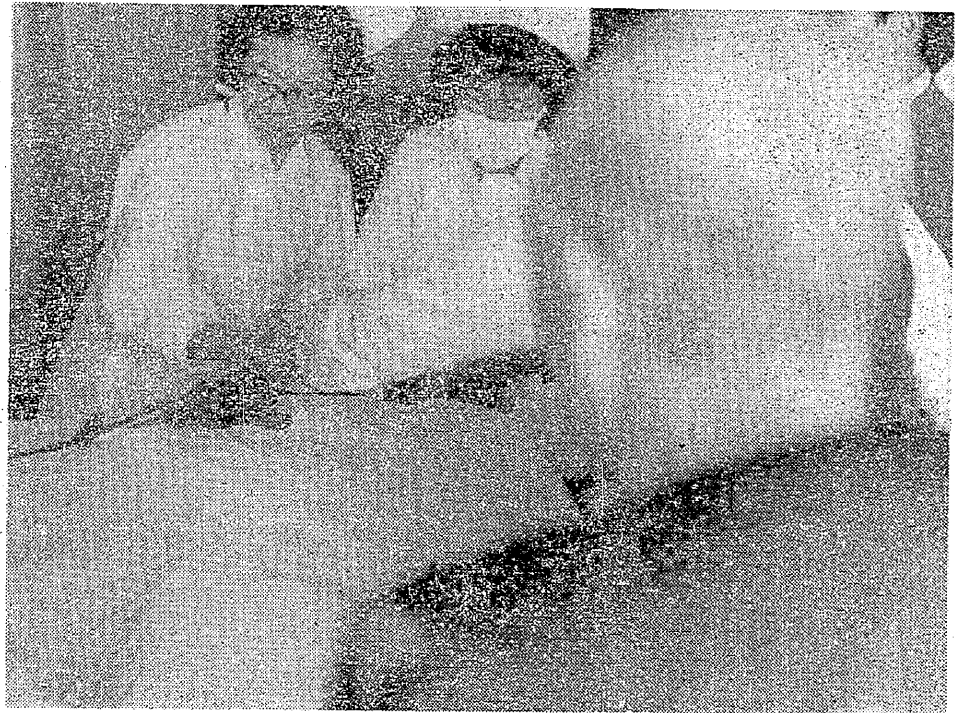
ほんとにありがとう

み ち 代

母ちゃんの手はふしくれたって、わたしの手より大きくて、しわがいつぱいある。この手で、わたしたちを学校にだしてくれる。おそくはわたしはがします。会社のかえり、おかすを母ちゃんがかって来ます。お父さんにおまわりして、みんなごはんを食べます。よるほ母ちゃんはいくつものふしくれた母ちゃんの手ほんとにありがとう。

×

三川指導部九分金新聞「はぐるま」NO70に、「分会員の娘さんの手記」としてあったもので、聞けばお父さんを「くし」た人だそう。



10年2カ月の苦しい闘病生活のすえに、宮島重信さんは静かに生涯の幕を閉じていった。

宮嶋さん親子に 捧げる

三川指導部 町 佳 郎

十年余を病臥にありし〇〇の若き命の遂にも近き。尊きは人の命なり十年余を病臥し〇〇の被災者の近き十年の長きを耐えし君なりき苦悶憂々絶望の日々被災しより何も語らず語り得ず君は近きしか黄泉(よみ)の彼方へ屍(み)まで眼開きて訴うるむき炭じん爆発の責盛りのある時を過ぎで散り近き冬枯れの樹の朽ち果つるごとく片言のねきらいもかけず近きとせ看病(みどり)し老いを残して

ようやく西方浄土へ旅立ちぬ屍(たお)れし後の十二日にしてうつし世の苦悶より逃れ来たる身をいかに抱きやすませ給え今はもう西方浄土へ着きし頃か病魔の衣(ころも)脱ぎ着きしか病魔より逃れし今は晴れやかに胸着きとて竹刀(しな)い)振れるか今はた矢いし青春(はる)を汝の腕に汝の心の内にしかと抱けよ新たな青春(はる)を謳歌(うた)えよ高らかに西方浄土黄泉の草原

完治する術(すべ)なき医学のほかなき後に残れる被災者あまた冬されの喪(もく)を憂う悲しみよ訪う人等の怒り包みて

十年の記念日に堪(せき)を切りぬ怒りの炎(やま)をこがして
老いの身をいたわり合いて十年余たひたすら看病(みどり)給う
せめてもの両親(おや)の務めぞと十年余をはなれず看病(みどり)し心かなし
いくそ度共に死なうと思いが死ねざりしは尊き親心なり
想像を越ゆる悲(かなし)胸をつく長き苦悶の時を思いぬ
病める愛息(こ)に對いて一人つぶやきし時もありけん真夜のベツトに
春夏秋冬移り変わりし窓外の景色も愛でず過ぎし十年
たちねの母の愛情(こころ)の尊きよ余眠不休の長き明け暮れしわ多くなりし母君よ悲しからん苦悶の年輪むくわれもせず
さまたまに想いひつること多からん汝がこし方の時のまにまに心より和める日もあらんそを待ちてかたみに御身体(みからだ)いつくしみ給え

合 掌

皮靴はける賃金と

香水代を

K 子

わた ません。
しは、会社ではいてる保安靴は毎日金 皮の靴で、作業にはもったいない靴です。パンタロンにこの靴をはけば、世の男性はあこがれのマナザシでわたしを見ることでしょう。

×

この靴をはいてきます。その靴ももう古くなり、かかとがはくれています。会社のお偉方方、ビニール靴をはいて足がかりく作業者が出来る様に、保安第一の水代を要求しましょう。

×

会社の行きかえりには皮の靴をはける賃金を。それに、黒水仙のような香水のひとつでもふりかけ仕事をするには、一緒に働く男性の仕事も面白く程はかどります。会社で働く女性よ、会社にはいかに、主婦の皆さんのお力添えを。

生協よりのお知らせ

一月三十一日
みいけ生活協同組合

このほど、生協組への出資者に対し、「利用割戻し券」を発行することになりました。

×

印カンで持参のうえ、みいけ生協、または各指導部にきたる一月末日までに連絡くださるようお願い致します。

×

なお、退職された方で出資されている方には、連絡の届いた方へご連絡いたします。くれぐれもお願致します。

地域新聞「こぶし」の

一主張

重苦しい正月でした。今年私は労働者にとり、きびしい情勢が予想されます。石油をはじめ諸物価の値上りは私たちの生活を苦しめ、圧迫しています。昨年の国税庁発表では前年比に比べ繊維七・三倍、石油四・四倍、鉄鋼三・五倍の大幅な値上げをしています。

×

今、石油危機で炭鉱が見直されていますが、今後良くなる見通しでもありません。い。会社は個別管理を強化して、反共労使協定の思想攻撃をしながら、職場における職制支配を強めようとしています。

不安な年を変えて 安定と希望の年に

石油はないな
いといいなが
ら、アメリカ軍
には、八一九
十月で十七万キ
ロリットルも供
給しています。

×

またリビヤを
出港したタンカーが先行を変更し、対米石油禁輸をよき、アラブの原油二十九億キロリットルが米に輸入されています。

×

キッシンジャーは安保条約をタテ、目下の半分田中内閣に対して「アラブには寄るな」と脅迫しています。

×

米以外の農産物は、五〇%以上をアメリカに依存し、国民の胃袋はアメリカに握られています。今こそ農産物・地域活動を強めるために目を覚まし、どしどし新聞活動をよみがえらせましょう。季節も、すでに春です。

×

昨年の毎日新聞の世論調査では自民党政権二五%、社共二四%、社公一八%、全野党九%、その他政権(保守・革新含む)七%という結果となっています。

×

昔から、ワルト・ランマンや世直し奉行が、忽然と出現したためしがありません。大きく変化している事実を見ながら、不安と混乱の年を安定と希望の年にかえるために福利闘争、インフレ手当と共に大幅賃上げを要求する春闘に勝利し、さらに参議院議員選挙勝利を目指し取り組もうではありませんか。

×

かなりの職場ではまだ冬眠をむさぼり続けていますが、でも一部では職場新聞ばかりでなく、こうして地域新聞も決起し、生活防衛のために立ちあがっています。今こそ農産物・地域活動を強めるために目を覚まし、どしどし新聞活動をよみがえらせましょう。季節も、すでに春です。